

サプライヤーとの公正・公平な取引に基づく相互の信頼関係と共存共栄を図るべく、強靱かつ持続可能なサプライチェーンを構築するために、BCP(事業継続計画)やQCD(品質・価格・納期)に留まらない、環境・社会面に配慮するCSR調達に取り組む。

持続可能なパートナーシップの構築

みらかグループでは健康で豊かな社会の実現のため、お取引先さまとの連携を強化しています。そのため、購買本部では、国内だけではなく海外のお取引先さまを含め、年間10社以上のお取引先さまを訪問し、品質維持に対する姿勢やシステムの確認を実施しています。訪問できないお取引先さまには、品質や環境に関するアンケートを配布しご回答いただいています。ISO取得状況や廃棄に関するルールづくりなど、今後は、お取引先さまを選定する際、CSR活動に積極的に取り組んでいる企業を優先的に選ぶことで、CSR活動の輪を広げていきます。そのためにも、みらかグループ全体を包括するグループ調達方針の策定を進めていきます。

取引企業数
SRLグループ:303社
FRグループ:292社
合計 **595**社

※上記は購買取引業者
(=主に物品の供給業者)であり、
サービス提供会社等は含んでいません。

主なアンケート項目

- 環境保全に関する方針を定め、従業員に周知していますか。
- 目的・目標を達成するための計画を作成していますか。
- 環境保全に関する目的・目標を設定していますか。
- 従業員に対し、環境保全に関する教育・訓練を実施していますか。
- 経営層が継続的改善を図るため、目標や計画などの見直しを行っていますか。 …など

国際規格や紛争鉱物への対応

富士レビオでは、購買調達方針を定め、健全かつ規制に沿った対応をしています。その中で、購買品環境対応方針においては、お取引先さまの製造から納品までの段階において「環境汚染への防止の対策が適切であること」を項目として定め、選定の基準としています。欧州でのRoHS指令(有害物質使用制限指令)や紛争鉱物の不使用などその時々に応じて、お取引先さまとともに基準を満たしています。また、販売に関するMDSAP(Medical Device Single Audit Program/医療機器単一調査プログラム)規制の「購買」についての条項などもしっかりと確認し、各国の規制に沿った対応をしています。今後は、労働環境や人権についても課題として認識し対応を進めます。

購買調達方針(富士レビオ)

- ① 要求される品質に合致した購買品を、適正な競争のもと選択購買する
- ② 相互信頼に基づく継続的取引を前提とし共存共栄・取引基盤の安定化に努める
- ③ 複数購買による購買品コスト低減ならびに調達の安定化に努める
- ④ 法令ならびに、品質マネジメントおよび環境システムの維持管理に即応した購買体制の確立と整備に努める



Voice

事例紹介

北陸地方での雪害時におけるサプライヤーとのコミュニケーション

北陸地方の雪害については、正直申し上げて絶望的な状況でした。北陸自動車道の閉鎖や国道8号線での大規模渋滞等で、道路状況が好転するまで無理はできないとの判断に至りましたが、エスアールエルのご尽力を賜り、営業拠点さまで対応可能なことと、トナミ運輸で対応可能なことを取りまとめいただきました。早々にイレギュラー対応を決定したことも良い方向に作用したと思いますが、関わった皆さまのお力添えがあってこそその結果でした。ありがとうございました。

トナミ運輸株式会社
執行役員 物流統括本部
ロジ・ソリューション事業部
ロジスティクスサポート部長
堀 浩司 さま

